

岐阜東濃産直国産材

小型ログハウス

(組立て説明書)



※前のページに戻るには、アプリ（ブラウザ）で戻ります。

はじめに

この度は「岐阜産直国産材ログハウス」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

この頃、シックハウスなどの様々な現代病（化学物質過敏症等）が問題になっている中で、当社では「癒しの家造り」と題し、できるだけ自然のものを、国産のものをそして、より安心・安全な家造りを目指し、日々努力をつづけています。

私共の工場がある地域は岐阜県の東濃地域といい、ここで育った檜を東濃檜といいます。神宮美林（備林）というすばらしい自然木の林をもち、伊勢神宮の式年遷宮（20年に一度の改善工事）にも使われている有名なものです。「岐阜産直国産材ログハウス」は、この東濃檜を床材に、同じ地域で育った杉を壁材、屋根材、建具等に使用しています。ぜひ木の香り、肌触りを楽しんでください。

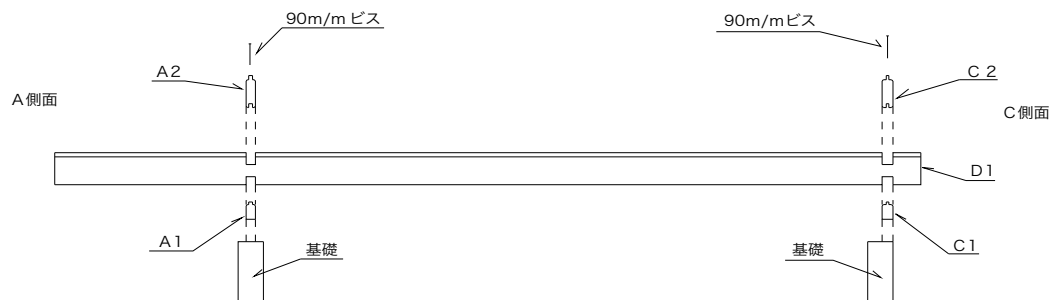
注意事項

- ・ 建てるまでの期間、長くシート等を掛けているとカビなどが生えてくるので、風通しをよくし、お早めに組立ててください。
- ・ 作業上、足場（脚立）等を使用したり、屋根での作業があったりと、高所での作業があるので、無理な姿勢での作業はさけ、足元をしっかりとし、安全な作業ができるよう十分注意をはらって作業を行ってください。
- ・ 屋根のトタンをふせる際には、小口などで怪我をしやすいため、トタンの取り扱いには、十分注意をしてください。
- ・ 暑い日及び夏場など、日差しの強いときは、ぼうしの着用、水分補給などに心がけ、体調には気をつけましょう。
- ・ 作業をされるときは、できる限り二人以上での作業をおすすめします。作業もスムーズに行えますし、もし、怪我をされた場合でも、速い対応ができ安全な作業ができます。
- ・ 無理な体勢での作業は、行わないでください。
- ・ 電気工具の取り扱いには、十分注意をし、正しくお使いください。以上の事に、十分注意をし、楽しくあせらず作業を行いましょう。

本体組立て

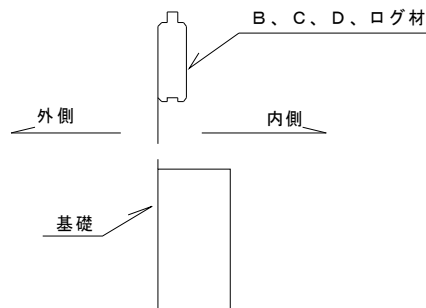
1、壁の組立て

展開図を参照し、A1, C2, B1, D1を組んでから A2, C2, B2, D2と1から順番に組立て、90m/mのビスをインパクトで締め付けます。



ポイント

- ① ビスの締め忘れには注意しましょう。一段づつ確かめながら作業を行います。
- ② ビスが横に出ないように、真直ぐ締め付けてください。
- ③ ビスを締めている時に、手ごたえのない時があります。そのときは、ビス穴を明けなおし、ビスを締めなおしましょう。
- ④ 4段～5段組みあがったところで、B、C、Dログ材の外面と基礎の外面を合わせておきましょう。



⑤ 付属の当て木を使い、しっかり溝にいれます。



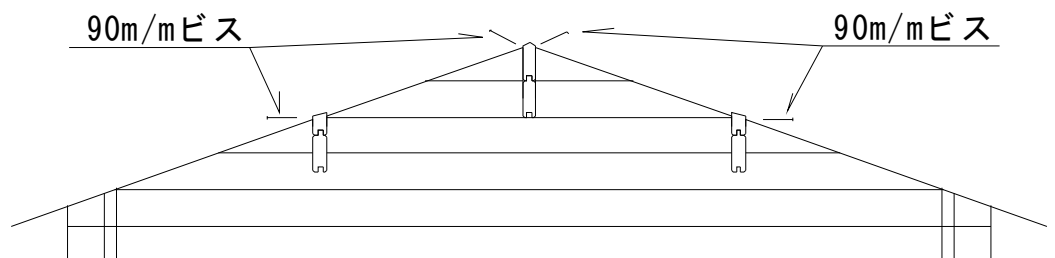
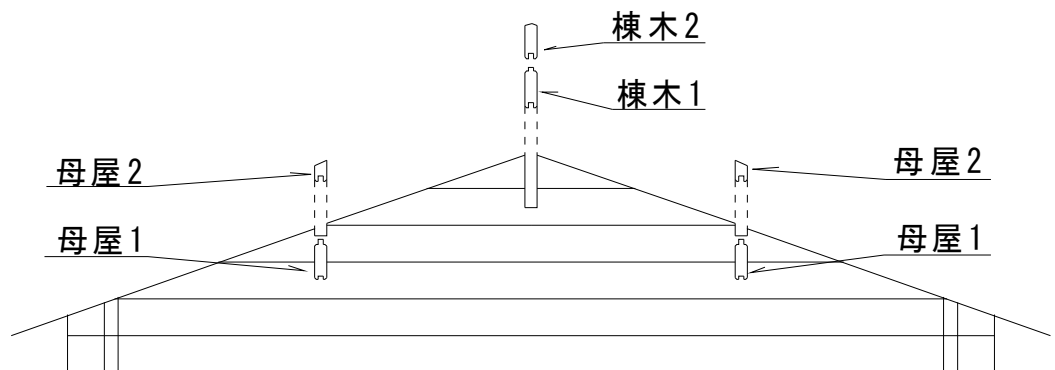
⑥ ビスもしっかりと締め付けてください。



⑦ 母屋についても、母屋 1、母屋 2 とあるので 1 から順にとりつけます。この段階では、母屋 1 ははめ込むだけにしてください。

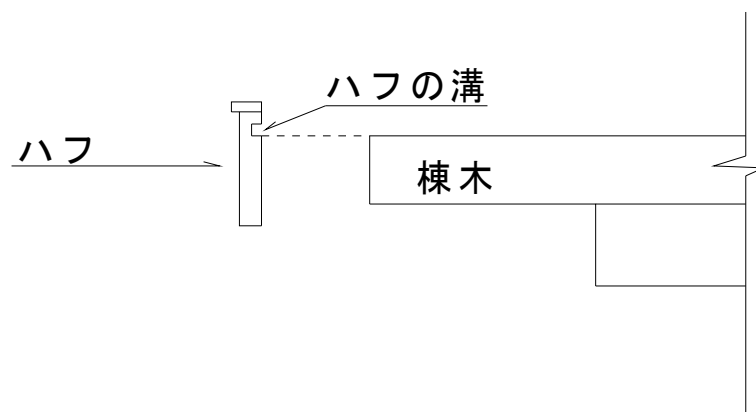


⑧ 母屋1, 2 棟1,2 をビスで締め付けたら、母屋と棟は壁材よりも少し高くしておきます。母屋1を下から叩くと、少し上がるので上がったところで、妻の小口（後で目につかないところ）からビスで固定します。棟木も同様です。



2、破風の取り付け

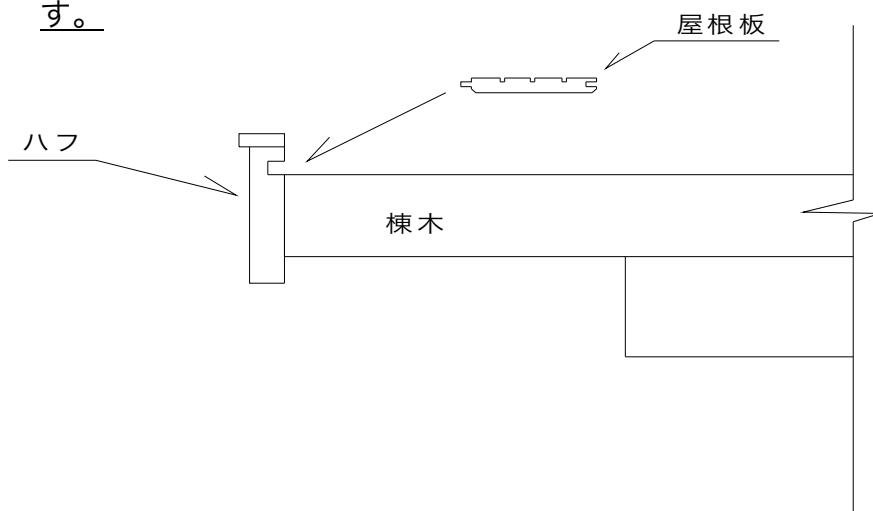
ハフに掘ってある溝の下端と、棟木、母屋、壁材（B21, D21）の上端をそろえて、90m/mステン釘で取り付けます。



3、屋根板の取り付け

ポイント

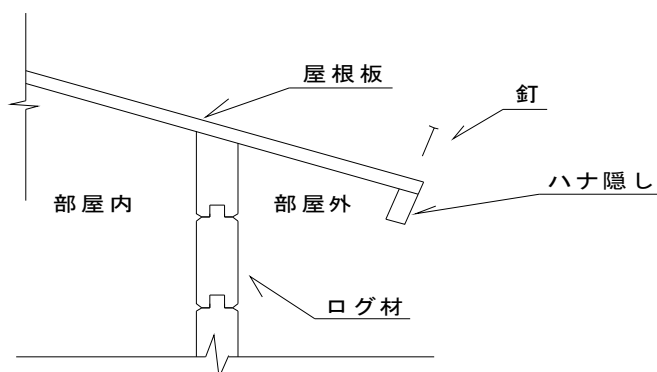
- ① 屋根板は仕上がっている（綺麗な）面を下（部屋側）にして張り付けます。
- ② 張り出しは、ハフの溝へ屋根板の凸の方を入れて張り始めてください。板の凸は切ってもかまいません。
- ③ 張り始める前に、棟木の上に墨を打っておくときれいに張れます。



- ④ 最後の板は、最後から2番目の板も釘を打たずに計り、最後の板を切ってから同時に入れ込みます。
- ⑤ 張り終わったら、釘が棟木や、母屋から出ていないか確認しましょう。

4、ハナ隠しの取り付け

屋根板を打ち終わってから、ハナ隠しをとりつけます。釘は屋根板の上から打ち付けます。



5、フェルトを張る

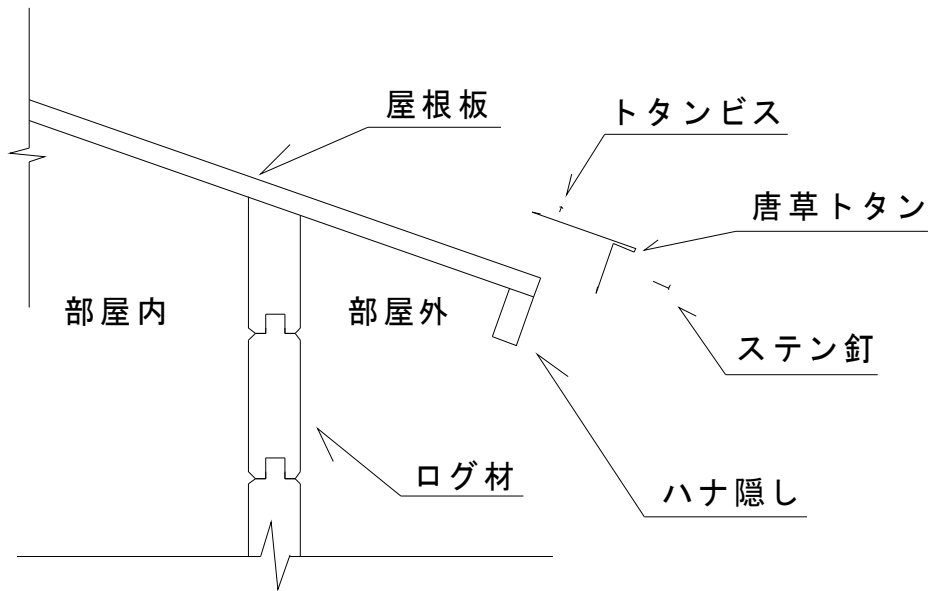
フェルト（屋根の防水紙）をはな先（下の方）から張っていき、
フェルトについている線（10cm程度）重ねていきます。



タッカー（フェルトをとめる道具）は、キットに含まれており
ません。

6、唐草トタンを張る

唐草（ハナ隠し）のトタンをステン釘でとめます。

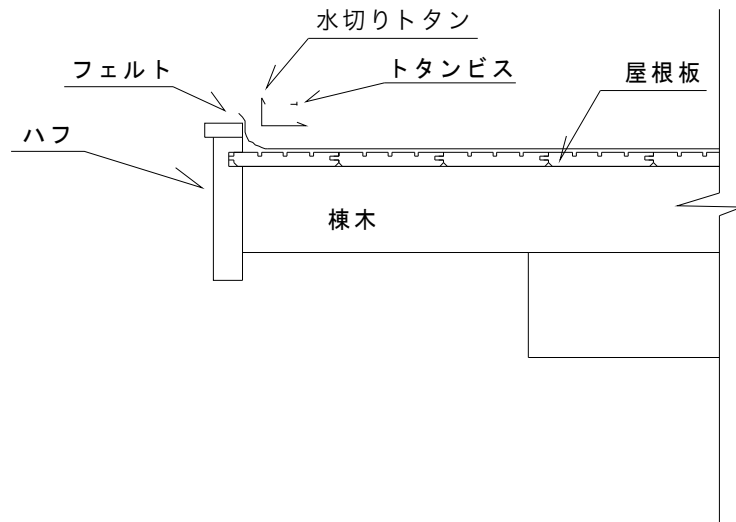


7、水切りトタンの取り付け

水切りトタンは、唐草トタンの上に重なるようにとりつけます。

トタンビスで、ハフに向かって固定します。

水切りトタンは、はな先（下の方）から上に重ねて取り付けていきます。



8、平トタンの取り付け

平トタンは、唐草トタンに引っ掛けるようにふせていき、トタンビスで上から固定します。



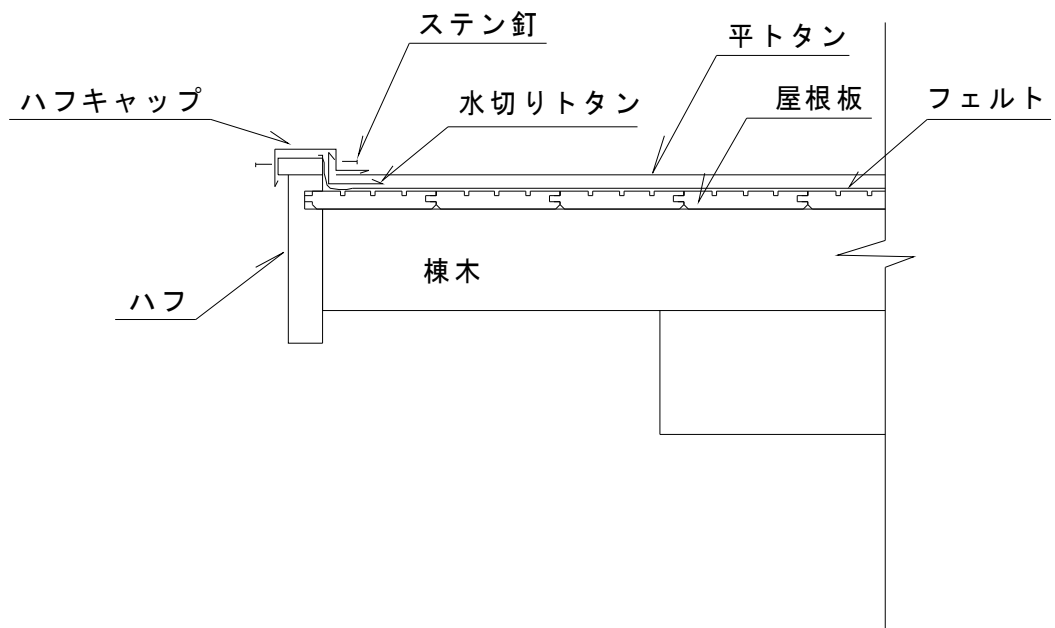
ふせた平トタンに、同じ手順で次の平トタンを引っ掛けトタンビスで固定していきます。



トタンビスは450ピッチを目安に取り付けてください。

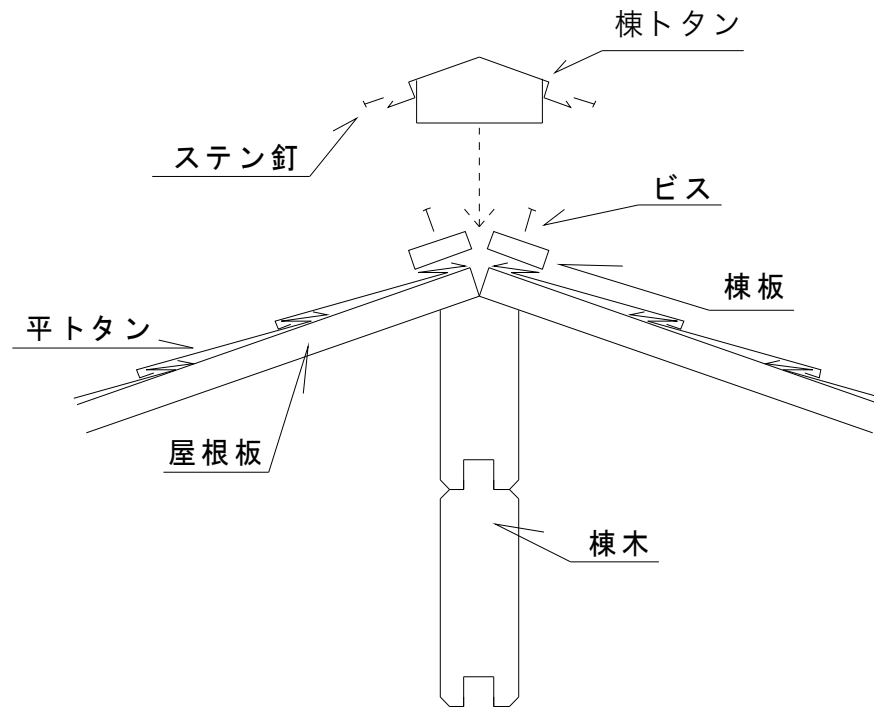
9、ハフキャップを取り付ける

ハフキャップは、平トタンをすべてふせてから、平トタン・水切り・ハフにかぶせるように取り付けます。



10、棟のトタン取り付け

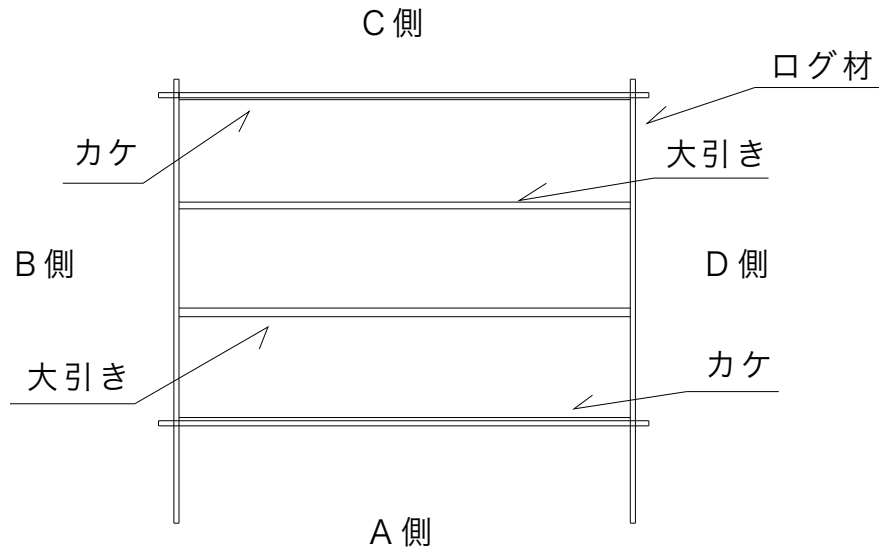
棟板を棟トタンの幅にあわせて、平トタンの上にビスで固定し、棟トタンの横からステン釘で固定します。



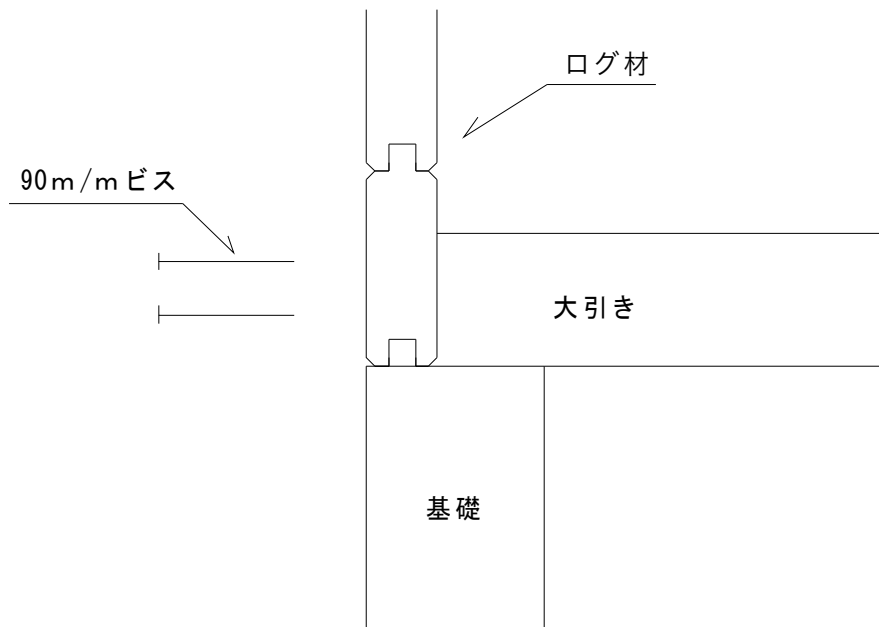
写真の中の黄色い丸部分（ハフキャップと棟トタンの間）にコウキングをしてください。

11、大引き・カケの取り付け

A, C側にカケを取り付け、B側からC側へ大引きを取り付けます。

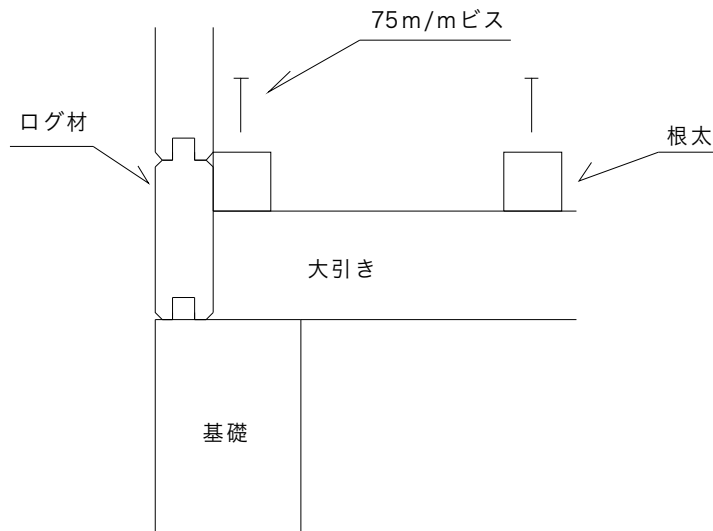


大引きは、内寸の平均したところに取り付け墨がしてある方を上にします。



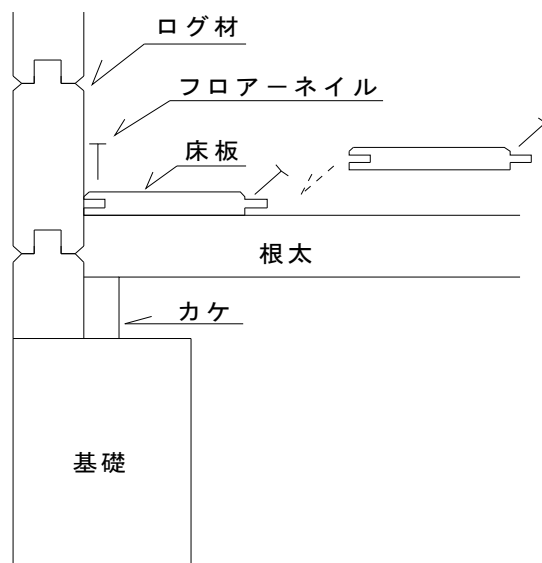
12、根太の取り付け

11 で取り付けられた大引きの上に墨が書かれているので、その墨に合わせて根太を敷き、75m/mビスで固定します。



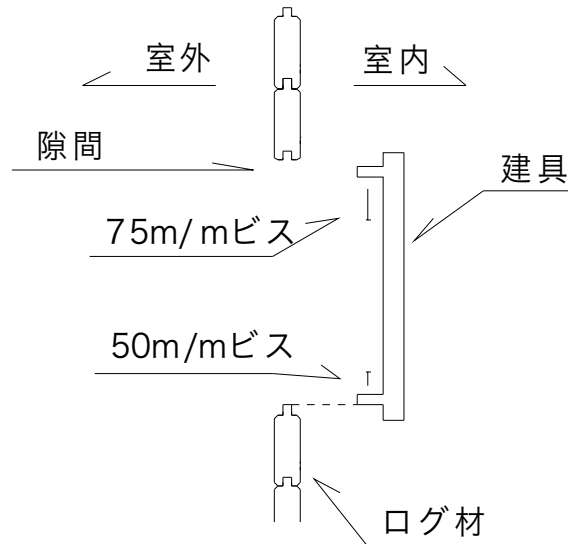
13、床板の取り付け

床板は、A側からC側へ向かって張っていきます。
張り出しは、後で取り付ける幅木で隠れる位置に板の上から打ち、
凸の所からも打ちます。
床板の最後は、屋根の時の同じ作業をします。

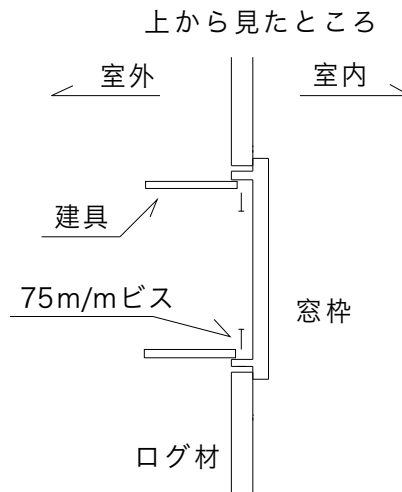


14、建具の取り付け

建具をまず開口部へはめてみます。その時、開口部上部と建具の上部に隙間（10mm程度）が出来ているか確認します。隙間がないときは、開口部下端を電気丸ノコ等で切断し、隙間を確保します。



隙間の確保が出来れば、まず 50mm pitch のビスで建具の下部を固定し、建ておこしを確認したら 75mm pitch のビスで上部を固定します。



建具の横には75mm pitch のビスで二ヶ所を固定してください。入り口の場合は、三箇所固定してください。ビスをあまり締めすぎると建具の収まりが悪くなってしまいますので注意してください。ログ材と窓枠の間の隙間は、カマシモノしておくとおもいます。

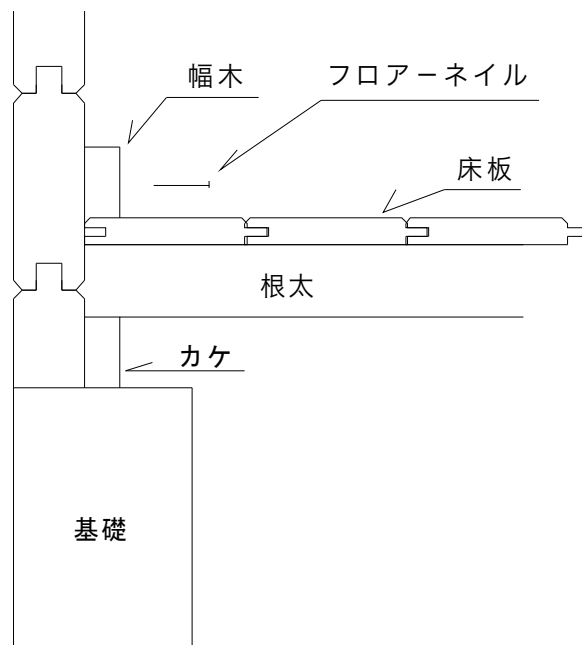
15、窓又きの取り付け

窓又きは、室外にフローアーネイルで取り付けます。



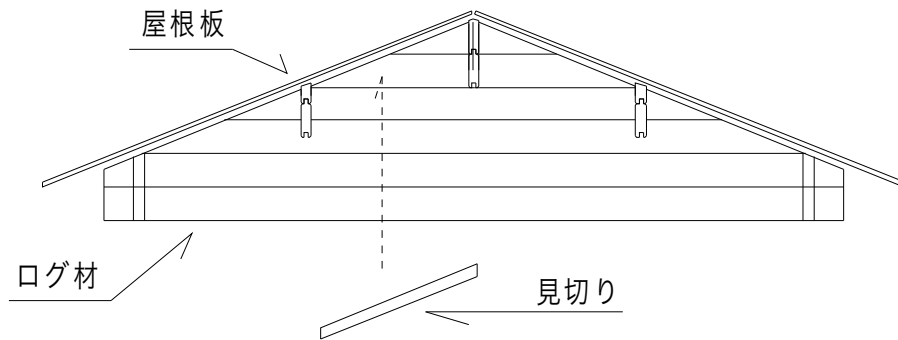
16、幅木の取り付け

幅木は、床板とログ材の隙間を隠すものです。フローアーネイルでこていします。



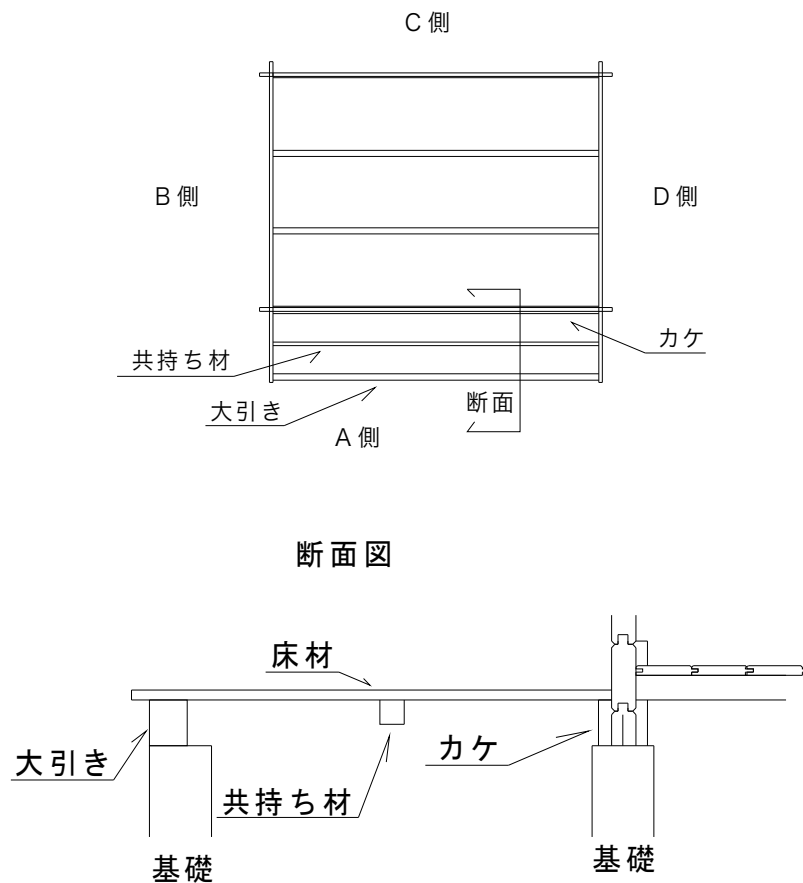
17、見切りの取り付け

見切りは屋根板とログ材の隙間隠しです。



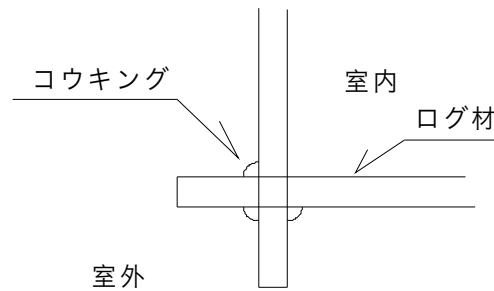
18、デッキの取り付け

デッキは、ほぼ床を張る作業と同じです。



19、コーキングをする

コーキングは、雨水の浸入を防げるように、壁材の角や、窓又キの周りに打ちます。



20、ご苦労さまでした。

これですべての作業は、終了いたしました。

木の保護として、塗装されるときは、浸透性のあるものをお選びください。こまめに手入れをされると、より長持ちをいたします。大変ご苦労さまでした。からない

[分からないことがありましたら、お気軽にご相談ください。](#)

※前のページに戻るには、アプリ（ブラウザ）で戻ります。